



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Masanori Oowa Address: 〒654-0013 1-1-5 Ote-cho, Suma-ku, Kobe
 Mail : herculesbeatles@gmail.com Tel. : 078-737-0850 Jspan
 URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 Kim Sang-Chae(Korea)
 "Y's Men with the World" 「世界とともにワイズメン」
 アジア太平洋地域会長 大野 勉(神戸ポートクラブ)
 "Make a difference beyond the 100th"
 「100年を越えて変革しよう」 スローガン:「健康第一！」
 西日本区理事 新山兼司(京都トップス)
 "Challenges for the future" 未来への挑戦
 六甲部部长 大野智恵(神戸ポートクラブ)
 寄り添い、分かち合い～『三方よしで、みんな笑顔』
 Snuggle up and share with you "Smile on each side"
 芦屋クラブ会長 大岩雅典
 ワイズメン相互の知識理念の共有

会 長 大岩雅典
 直前会長 大岩雅典
 副 会 長 菅原 進・福原吉孝
 書 記 柏原佳子・上野恭男
 会 計 羽太英樹
 監 事 五十嵐政二
 連絡主事 坂本孝司
 六甲部メネット主査 上野恭男

12

Dec., 2021
 294号

「一息つきました」

会長 大岩雅典

秋となりました、キンモクセイの良い香りが漂い、木々も紅葉しはじめ北海道では初雪も降りました。コロナも終息し繁華街は活気を取り戻し週末のショッピングセンターは大混雑しています。選挙ではやはりコロナの責任を取られた形で政権与党議席を大幅に減らしました。今後コロナ対策は経済復興方向でないと、有権者の支持は得られないことははっきりしたようです。次の参議院選挙までの間、感染対策と経済復興両立させる難しい政策変換が迫られます。ガソリン価格が世界的に高騰し、日本国民としては他人事では済まされない状況ですが、いくらガソリンが高くても、微力ながらも経済復興に個人個人が貢献していかなければならないと思います。ワイズでは、今年久しぶりにチャリティーランが開催されます。コロナ過の影響もあり少し形を変えての開催です。ワイズ100周年記念行事の植樹なども行なわれる予定ですし、少しずつですが活気を取り戻しています。クリスマス祝会も行われますので、本当に今から楽しみです。コロナコロナと大変な一年でしたが、コスモスの咲くころに終息へ向かい一段落です。まだまだインフルエンザの季節への心配もありますが、一息ついて穏やかな日常が返ってきたこと、当たり前なのがこんなにありがたいことだとは気づきませんでした。災難ではありましたが、日々の感謝を忘れず今回のことを教訓に暮らしていきたいと思えます

今月の聖句

見よ、その日が来る。炉のように燃える日が。高慢なもの、悪を行う者は すべてわらのようになる。到来するその日は、と万軍の主は言われる。彼らを燃え上げらせ、根も枝も残さない。しかし、わが名を畏れ敬うあなたたちには義の太陽が昇る。その翼にはいやす力がある。 マラキ書3章 19-20節

12月クリスマス祝会

と き: 2021年12月23日(木) 18:00~20:30

と ころ: ホテル竹園芦屋 飛鳥の間

総合司会: 福原吉孝ワイズ

- | | |
|-------------|-------------|
| ◇開会挨拶・点鐘 | 大岩雅典会長 |
| ワイズソング斉唱 | 一同 |
| ゲスト紹介 | 福原吉孝ワイズ |
| ◇礼拝の部 | 司会: 島田 恒ワイズ |
| 聖句朗読・奨励 | 権 甲植ワイズ |
| ◇会食・歓談 | |
| 食前感謝 | 五十嵐政二ワイズ |
| ◇楽しみの時間 | |
| ピアノ演奏 | 遠藤景子氏 |
| 賛美歌「きよしの夜」 | 一同 |
| ◇第2例会議事録の承認 | 大岩雅典会長 |
| 各事業員報告 | 各事業委員 |
| YMCA 報告 | 坂本孝司担当主事 |
| ニコニコ報告 | 坂東幸子ワイズ |
| 誕生日のお祝い | 大岩雅典会長 |
| ◇閉会挨拶・点鐘 | 大岩雅典会長 |

11月例会集計

第1例会出席		例会出席率		BF切手
メンバー	15名	出席者	15名	累計 gm
ビジター	名	メイクアップ	1名	
ゲスト	4名	合計	16名	
メネット	2名	在籍者	18名	ニコニコ
コメント	名	(内広義会員1名)		15,000円
合計	21名	出席率	88.9%	累計 31,000円

11月第1例会報告

日時： 11月17日(水) 19:00～21:00

場所： 芦屋市民センター218号室

参加者： 大岩雅典会長、五十嵐政二・かほる、上野恭男、柏原佳子、桑野友子、島田 恒、菅原進、堤 清、中山豊美、羽太英樹・光子、濱瀬真知子、板東幸子、福原吉孝、山口光一(各ワイズ・メネット)、坂本担当主事

ゲスト： 塚原しじみ氏(ゲストエンタテイナー)、奥田実氏、舟橋侑子氏、増田知子氏

17 日に対面が原則で開催された。竹園が野球関係優先で使用できず、市民センターでの開催となった。開会点鐘、クラブソング、聖書朗読とメッセージと進み、「余島キャンプ 70 周年ビデオ」が約 10 分間上映され、中山メンの活躍を含めて



歴史ある活動に関心を深めることになった。

続いて会食と歓談の時間、この日の会食はリクエストの多いな丼、プラスチックパッケージにタプリの鰻が乗せられたディナーをみんなで楽しんだ。この日の会場は空気が少なく寺子屋式配置のハンディがあつたが、そこは乗り越え賑やかな会話が

弾んだ。

この日のイベントは大岩会長紹介の塚原しじみさんによる「70～90年代ポップス歌謡」、NHK オヤジフォーク選手権で準優勝を得た、

歌とギターの弾き語りである。昭和の歌謡なら何でも来い、という勢いで、東京ブギウギ、川の流れるように、など凄い声量で歌ってくださった。なかでも、よいとまけの歌、YMCAの歌は迫力十分、リクエスト曲にも応え



てください、アンコールにはまた会う日までで締められた。会場は盛り上がり、山口メンのギター弾き語り、奥田ゲストの讚美歌歌唱も飛び出した。

イベントの後は各種報告、誕生日祝いも実施。長らくコロナのため対面例会が開催できず、先月・今月と実現することができ、やはり対面による交流の楽しさを実感しながら閉会となった。



島田 恒

鎌倉クラブ例会を通して

鎌倉クラブ池田会長から 11 月 9 日(火)開催のZOOM例会のお誘いメールが送られてきました。9 月芦屋例会には、DBC例会を開きたい！大岩会長の希望が実現し、池田会長と千葉祐子ワイズ他、もりおかクラブ会長長岡ワイズのご参加をいただき、そのとき、是非鎌倉クラブの例会にもというお約束がありました。

芦屋クラブからは、大岩会長、上野、桑野、柏原が参加いたしました。鎌倉クラブは、人数が増えておられ、存知あげないメンバーも多く、表情もマスクで隠れているのが残念です。嬉しい事に、ゲストスピーカーは東日本区元理事山田敏明ワイズ(十勝クラブ)の顔が見えました。個人的には紅顔の美青年でいらっした♪頃からのお知り合いです。北海道十勝開催のアジア大会、東日本区大会十勝開催、豪快な牛の丸焼きの香り、アスパラガスの歯ごたえ、特にジャガイモファンドは、森田恵三ワイズの発案で日本区の一大事業と成っています。手広く農業を営まれ酪農家として著名な山田ワイズはスピーチの中にユニークなクイズをご用意されていました。十勝の面積、人口はじめ壮大な北海道の 10 間に正解者にはチーズかバターのご褒美が当たるとあって力が入りました♪鎌倉クラブ千葉ワイズが 7 問正解で私は残念ながら 6 問でしたが、嬉しい事に明るく日、山田ワイズからお電話を頂き、「柏原さんと ZOOM でお会いし、いろいろお話したかったが、例会だったのでそうもいかず、今日改めて連絡をさせていただきました。正解が 6 問ということで、同じものをお送りします」なんて素敵なお計らいでしょう♪ZOOM でこれだけ盛り上がるなんて素晴らしい企画だったと思います。

私は、ZOOM はコロナ禍を乗り切る一つの手段とと思っていましたが、十勝と鎌倉と芦屋を結ぶ交流の力に感動しました。そして、なにより芦屋クラブに ZOOM を導入された大岩会長の熱意と努力に改めて感謝致します。 柏原佳子

芦屋ワイズメンズクラブさまからの贈り物

(ブリテン記事復刻版、2009年9月号掲)

甲子園で活躍した花巻東高校に芦屋クラブ様から、言葉でお礼など、到底出来ないすばらしい贈り物が届きました。関西地方で発行された新聞のスクラップ、甲子園でなければ手に入らない、ペナント、記念タオル、記念切手など！芦屋クラブメンバー全員のサイン、メッセージが入った色紙。開けてびっくりの玉手箱のようでした。会長の飯田様のメッセージを全文掲載いたします。

「前略、日頃のご交流に感謝いたします。この夏の花巻東の活躍は本当に感動いたしましたご子息の入学への親子の決断、その後の練習と試練が続く事でしょう 青春に賭けるエネルギーにいつも心が動かされます。いつか甲子園のスタンドで応援が出来ればと思っています。心ばかり集めた物を送りませ、今後共よろしく願いいたします。 飯田義雄」

芦屋クラブの吉岡さん始め、5名の会員の母校、関西学院も選手権に参加していて、共に中京大中京に敗戦してしまいました、私たちは関西学院に対して応援していましたか？聞くまでもなく花巻東の事しか頭になかった、これは間違いなく、事実でしょう、そんな中で芦屋クラブ様のこのような心がこもった贈り物と、激励をいただいた事、嬉しさと反面恥ずかしさも覚えられました。今回の芦屋クラブさまの行動を教訓として、私達も「心がこもるもの」行動でも、物質でも、「こころ」を大切に活動しなければならぬと思ひ知らされました。文面では「感謝」とか「ありがとう」とかしか表現できないのが残念です。

ほっ、ん、とう～、にありがとうございます。有効に活用させてもらい、最終的には花巻東高校に寄贈したいと考えております。子供たちも、監督も喜ぶと思います。 長岡正彦

魅せられて XI

篠坂幸彦

◆【阪急ブレーブス】パ・リーグ優勝おめでとう。[失礼。これってお若い方には通じないかも……。]そこで今回【阪急電車・あの日・あの頃】を紐解いてみた。私は神戸・宝塚に叔父叔母が多く、幼少時代から学生時代の通学、そして現在に至るまで随分お世話に…。◆【明治43年】【箕面有馬電気軌道(株)】と言う名前で生まれた。あの『阪急マルーン(小豆色)』に統一された車両。座席はゴールデンオリブと呼ばれる上質な緑色』。何十年と今でも変わらないブランドイメージをもつ【阪急電車】。◆先日の朝日新聞(夕刊一面)による報道で《全国の鉄道大手を対象とした顧客満足度調査》では堂々の12年連続の首位を走り続けている。又、リクルート社の調査で《住みたい街ランキング》も阪急沿線が上位常連にいる。との掲載があった。◆事業家小林一三氏により[大阪梅田～宝塚]の【宝塚本線】とその中間の【石橋～箕面】を繋ぐ【箕面支線】でもって営業開始となった。[都市部を中心に走る]ライバル線に比べ阪急電車は【未開の田園地帯】を走る。これが始まりであった。◆そして11年後の【大正9年】に【大阪・梅田～神戸・上筒井】(まだ『三ノ宮』ではなく少し手前の『王子公園』辺りに【神戸本線】が開通した。◆開通当時の話。なだらかな山麓になっていた【夙川駅】。その辺りを神戸に向かって通過する際、平行して走行する『省線(JR)及び阪神電車と海岸の風景』は素晴らしかった。とある。◆【大正10年】には【西宮北口～宝塚】間の『西宝支線』(現在の『今津線』)が開通するも駅は『門戸・小林・逆瀬川・宝塚南口』の4駅だけだが、これで



【神戸本線】と繋がった。此の件については【西宮クラブ様・プリテン 11月号】にてゲストスピーカー【芝川又美氏】が詳しく述べられておられる。後に出来た【甲東園駅】は芝川氏の曾祖父【又右衛門氏】が小林一三氏とのご相談の上、土地と駅舎の建設などに、ご尽力が多かった。と掲載されている。ご参照を。◆【昭和11年】やっと西灘・春日野道と現在の【三ノ宮】までを『高架』として繋がる様になる。◆尚、創業者・小林一三氏は将来的に利用者を増やそうと鉄道会社としては初めて沿線の【宅地開発・観光開発】を進めたのも有名である。現在も【宝塚本線・神戸本線】の沿線・各駅にショウシャな1戸建て住宅群が数多く存在している。◆【京都線】については【昭和18年】に【京阪電鉄】との合併問題が発生。一時は【京阪神急行電鉄(株)】と社名も変更されたがその後、紆余曲折があったが【昭和38年】に難関工事【大宮～河原町】間の地下延長線が開通し、これで【梅田～河原町】までの直通【京都線】が完成し【昭和48年】に社名も【阪急電鉄(株)】となった。今後も【魅せられる】イメージを大切により発展を願いたい。尚【京都線】に関しては、余りにも多い経緯があり、紙面上以下省略。お許しを。
★【阪急電鉄(株)広報・発行誌】『最も有望なる電車』を参考

祝 余島キャンプ70周年記念キャンプ II

まあ時間押してから休憩もなく、日比保史先生による「今そこにある地球の危機、持続可能な未来のために私たちがすべきこと」を聞く。環境問題、世界で起こる異常気象による被害の数々の映像と気候変動、我々の出来ること

～ 7 Ways you can help light climate change ～

1. 省エネー電力会社を変える
2. 公共交通利用、電気自動車乗り換える
3. リサイクル、ESG 投資
4. 食生活の見直し
5. 持続可能な消費を
6. 自然環境を護る
7. 現状伝える

その他、大切なこととして、若者と女性の意見を聞く。

2030年までもう時間がない……

夕食後は、皆で集まり Camp Song とお酒は、endless でおしまい。

3日目 朝食後、オリブの木を記念植樹として皆の手で植えた。

実行委員会の皆様方の2年間に及ぶ、ご尽力を継続して頂いたお陰で、世にもない夢のような時間を過ごさせて頂いたことに、心より感謝と敬意を表したいです。ありがとうございました！こんなに素晴らしい事は癖になります。色々考えて協力できるように、生きてる内に余島を子供たちに残せる事の価値と行動を深く理解し、実現して行きましよう。頑張ろう！不要品は処分して役に立つように回そう。皆様に感謝いたします。 中山豊美

第23回神戸YMCAチャリティーラン2021 & YMI 創立100周年六甲部記念植樹

昨年は、新型コロナウイルスの影響で大会を中止せざるを得なかった神戸YMCAチャリティーランですが、今年はなんとか工夫をして実施しようと計画されました。タイムを競う形ではなく、各自都合の良い場所と時間で、歩いたり走ったりした記録を報告する「WEB参加」と、しあわせの村に集まって参加する「会場参加」の二つの方式が準備されました。前日の雨も上がり、会場には全体で約150名の方が参加され、しあわせの村内の2つのコースを個人のペースで歩いたり走ったりする姿がありました。秋の一日を体を気持ちよく動かして楽しみました。



プログラムの合間に、Waisenzens Club International Association 100周年を祝して六甲部の記念植樹を行うことも出来ました。

(六甲部部长通信より要約)



11月第2例会報告(抄)

場所： 芦屋市民センター205号室

日時： 11月24日(水)18:10～プリテン 編集会議
18:30～19:55 第2例会

参加者： 大岩会長、上野恭男、柏原佳子、桑野友子、
島田 恒、羽太英樹、坂東幸子、福原吉孝
菅原 進、濱瀬真知子(ZOOM 参加)各ワイズ

議事・報告

◇第1例会

・12月クリスマス祝会

日時： 12月23日(木) 18:00～20:00

会場： ホテル竹園芦屋3F 18時～20時30分

主に芦屋クラブメンバーのみの開催、ゲストは歓迎する

会費： 6,000円(クリスマス・ディナー、ワインはホテル
その他飲み物は持ち込みとする)

☆12月15日(水)18:00～20:00 第2例会

芦屋市民センターにてクリスマス担当などを決める

・2022年1月例会

1月22日(土)六甲部新年合同例会を芦屋クラブ

第1例会とする

・2月の留学生交流会は、YMCAとの打ち合わせの上、
状況を見て開催

◇六甲部各クラブクリスマス祝会

・宝塚クラブ

12月11日(土) 11:30～ 宝塚ホテル

・西宮クラブ

12月18日(土) 18:00～ カクチーナ ケ インカント

☆参加者は個人的に申し込む。今回は、芦屋クラブク
リスマスのアピールの為の出席とはしない方針

◇六甲部合同新年例会

日時： 1月22日(土) 16:00～18:30

場所： 須磨温泉寿楼臨水亭

◇2022～2023年度役員

大岩雅典現会長が来期も引き続き(3期連続)で会長
芦屋クラブより広報委員長の選出

大岩会長が六甲部広報委員長を兼任することを決定

◇余島シニアキャンプ、支援金の件

余島シニアキャンプの余剰金20万円を植樹際の中で
YMCAへ贈呈。結論としては、今回は後からの献金は見
合わせる事とする。

余島への寄付は1円キャンプの30,000円で了承

◇大岩会長からチャリティ・ラン&植樹際の報告がなされた。

チャリティ・ランへの献金は、クラブより20,000円

個人献金は10名が@3,000計30,000円を寄付

献金者名：上野、大岩、柏原、桑野、島田、篠坂、中山、
羽太、濱瀬、福原、(各ワイズ)

◇10月会計報告が 羽太会計よりなされ、承認

◇じゃがいもファンド報告 十勝のじゃがいも・カボチャ、インカ
のめざめ合計売上げ311,800円、仕入れ・経費を差引
き、96,633円を羽太会計に入金済

◇坂本担当主事の YMCA 報告はプリテンに掲載する

書記 柏原佳子

YMCA ニュース

■第23回神戸 YMCA インターナショナル・チャリティラン2021
2021年度は新型コロナウイルスの影響により、例年とは形を
変えて実施をさせていただきました。ウォーキングやランニング
(ウォーク&ラン)を都合の良い場所と時間で参加していただく
WEB参加型と感染症の拡大防止策を施し、しあわせの村で
お集まりいただく会場参加型としました。会場参加者総数



121名、奉仕者70名、WEB参加者総数24名(11/1～23
期間内集計)という多くの方々にご参加いただきました。
コロナ禍の中であっても、たくさんの皆さまの暖かい心と弾ける
笑顔が集められた大会となりました。ご参加いただいた皆さま、
そしてご支援いただいた皆さま、お一人おひとりに心よりの感
謝を申し上げます。本当にありがとうございました！！

■わたしたちの難民問題 2021Vo.22

オンライン講演会のご案内

紛争や迫害を逃れ、家を追われた人が、世界各地に約
8,000万人いるといわれています。日本にも様々な国から難
民が庇護を求めてきています。難民の現状を知り、わたしたち
にできることは何か、一緒に考えてみませんか。

開催日：(各日 19:00～20:30)

①12/1 「日本における難民認定制度の現状と課題」

②12/8 「アフガニスタン難民はいま」

③12/15 「ミャンマー難民の現状と支援活動」

参加費：無料 要事前申込み

問合せ先：神戸 YMCA 078-241-7204

houshi@kobeymca.org

※詳細については以下の URL をご覧ください。

<https://www.kobeymca.org/data/pdf/20211201.pdf>

■神戸 YMCA 学院専門学校日本語学科の学生が西宮
YMCA 保育園との交流をしました。

昨年度も実施した西宮 YMCA 保育園との交流を今年度も実
施いたしました。今回は、韓国とペルーの留学生が保育園にお
邪魔しました。日本の園児たちにとっても、留学生にとっても、



自分と異国の人たちの違いや共通点を感じる貴重な出会いで
あったことと思います。それぞれの国のことをたくさん知りました。
最後は、韓国語の「幸せなら手をたたこう」で締めました♪

神戸 YMCA 坂本孝司

編集後記： ◆もうそろそろかな？と思った矢先のオミクロン株、でも私達には十分な経験があります。いたづらに畏れるのではなく、マスク・手洗い・三密を避け、例会はもとより、色んな行事に積極的に参加したいですね。◆皆様からの投稿をお待ちしています。エッセイやトピックス等、写真も添えてどんどんお寄せください。◆クリスマス祝会の準備も整ってきました。権ワイズの奨励に深く感謝し、遠藤景子さんのピアノに耳を傾けましょう。ギターやウクレレも楽しみたいですね。◆冬本番、ご自愛ください。 桑野友子